

豊見城市学力強化支援事業(受験対策講座)

回答書

豊見城市学力強化支援事業(受験対策講座)公募型プロポーザルに関する質問事項について以下のとおり回答します。

項目	質問箇所	質問内容	回答
1	仕様書 P.1 5 実施方法 (1)講座対象者	令和6年度は民間塾に通っている生徒は本事業への参加が不可となっております。今年度の仕様書・実施要領に記載はございませんが、民間塾に通っている生徒は本事業への参加は可能でしょうか。	受講者の選定につきましては、市内各中学校において実施するため、学校を通じて保護者へ下記の条件を通知済みです。 基準(1)の通り、「他の学習塾等に通塾していないこと」を条件としているため、民間塾等に通塾している生徒は対象外となります。 【受講選定基準】 (1) 他の学習塾等に通塾していないこと。 (2) 授業態度が良好であること。 (3) 出席状況が良好であること。 (4) 講座の開催日に習い事等の予定がないこと。 (5) 開講期間の全日程に参加できること。
2	実施対象者と KPI	上記質問の付随質問です。以前、民間塾に通っている生徒は本事業へは参加できないという話を伺いましたが実際には塾に行っている生徒も登録されていることを伺いました。事業目的沿った場合、毎回参加できて、出席率も良い生徒を対象にした方が良いと思っておりますが、受講の定員数の充足もあられると思います。対象者、登録数、出席率、その他求めている KPI に関してのお考えを伺いたいです。	受講対象者の条件は、項目 1 の回答の通りです。 登録数(定員)については、「令和 8 年度 豊見城市学力強化支援事業(受験対策講座)仕様書」5 (1)に記載している各中学校の定員を想定しています。 受講者の募集および選定は学校側で行いますが、受講開始後も生徒が意欲を持って通い続けられるよう、受託者による魅力ある講座運営や丁寧なフォローを期待しております。 本事業は、高校受験に対する不安を取り除き、学習意欲の向上を図り、志望校へ合格することを最終的な目標(KGI)としております。 そのため、高い出席率の維持や積極的な学習姿勢の定着は非常に重要な要素であると考えており、これらを踏まえた受講者の学力分析、個別サポート等を通じた継続的な受講へのアプローチや、プレ入試等の実施による科目別の得点伸び率についても、事業プロセスにおける中間的な成果指標(KPI)として捉えております。
3	学校との連携について	昨年度の学校別の連携方法について伺えればと思っております。	本事業の円滑な実施にあたっては、学校・受託者・教育委員会の三者が緊密に連携することが不

		教室のみをお貸しいただいて、鍵開け閉め等だけで良い学校、帰りがけに参加生徒の出席状況や気になることを報告が必要な学校、しっかり学校とも連携して保護者生徒にも働きかけて頂ける学校など、学校のお考えもあるかと思ひますし、教育委員会としてのお考えもあられると思ひましたので、わかる範囲で伺えればと思ひます。	可欠と考えております。 実施場所となる各中学校の空き教室の使用、施錠管理、日々の連絡体制等については、契約締結後に発注者(教育委員会)、受託者および各中学校の三者で協議の上、決定いたします。 なお、学習支援の効果を高める観点から、いずれの学校においても受講生の出席状況や気になる様子の共有等、各中学校との適切な連携・報告を行っていただく方針としております。
4	仕様書 P.1 3 業務目的	業務目的に「高校受験に対し不安を抱える生徒の受験不安を取り除き、学習意欲の充実・向上を図ることを目的とする」とありますが、本事業は受験に向けて学習支援を行う事業の認識で良いでしょうか。 生活指導に関しまして、あまりに気になる生徒(例えば生活指導(学校規則で禁止されているお菓子やスマホの持ち込みなど学習の妨げになる行動・言動が著しい場合等))がいらっしゃった場合、学校と連携して改善に向けた動きを一緒に取っていく形式で良いでしょうか。	ご認識のとおり、本事業は仕様書「3 業務目的」に基づき、高校受験に対し不安を抱える生徒の受験不安を取り除き、学習意欲の充実・向上を図るための学習支援事業です。 また、講座の実施時間内において発生する学習の妨げとなる行動や、不適切な言動等の課題が見られる受講生(生活指導上の懸念がある生徒)への対応につきましては、原則としてまず受託者において第一次的な対応を行っていただきます。ただし、改善が見られない場合や緊急を要する場合は、仕様書「10 苦情対応」および「11 その他(3)」の定めに基づき、速やかに教育委員会および該当校へ引き継ぎ、連携して対応にあたるものとします。
5	仕様書 P.2 5 実施方法 (2) 講座等の実施内容 ① 講座	昨年度は8月下旬に選考結果、夏休み開けた9月中旬ぐらいからスタートぐらいだと想定しておりましたが、実際に始まったのが11月からの4ヶ月間だったと思ひます。今年度は10月開始を希望されていると思ひますが、受験生なので早く始めていくことも可能でしょうか？そういう要望がご家庭から出ていたことはありますでしょうか？開始時期に関するお考えを伺いたひです。	事業の開始時期につきましては、仕様書「5(2) ① 講座」に記載のとおり、10月からの開始を予定しております。 なお、昨年度は11月からの実施となりましたが、受講者及び保護者から「より早い時期からの開始を希望する」とのご意見が多く寄せられたことから、受験対策期間をより長く確保するため、今年度は開始時期を10月に変更しております。
6	仕様書 P.2 5 実施方法 (2) 講座等の実	プレ入試の対象者は本事業参加者のみでしょうか。	プレ入試の対象者は、本事業の登録受講生のみとなります。

	施内容 ②プレ入試	「教育委員会が利用申請を行うため施設利用料は減免となる」とありますが、施設利用料は無しで合っていますか。	また、会場となる豊見城市立中央公民館の施設利用料につきましては、教育委員会にて使用許可申請を行うため、受託者における費用負担は発生いたしません。
7	仕様書 P.2 5 実施方法 (3)スタッフの配置 工生徒管理	出欠管理は受注者が行い認識で合っていますか。出欠に関して学校への共有や連携は行いますか。	ご認識のとおり、受講生の出欠管理は受託者(受注者)において実施していただきます。 毎月の出欠状況につきましては、仕様書「6(2)実施状況報告書」に基づき、毎月の報告書にて教育委員会へ提出していただきます。 また、生徒への学習支援効果を高める観点から、日々の出席状況等については各中学校とも適宜情報共有・連携を図っていただく予定です。
8	登録生徒数と出欠	過年度実績について各中学校の定員数ならびに登録生徒数を教えてください。延参加人数を教えてください。各中学校の登録生徒数に対しての出席率を教えてください。	直近の令和 7 年度における各中学校の実績は以下のとおりです。 豊見城中学校 定員:80 人、延べ登録生徒数:49 人、最終的な登録生徒数:48 人、延べ出席人数(累計):1,911 人、平均出席率:83.1% 長嶺中学校 定員:40 人、延べ登録生徒数:40 人、最終的な登録生徒数:38 人、延べ出席人数(累計):1,570 人、平均出席率:82.6% 伊良波中学校 定員:40 人、延べ登録生徒数:40 人、最終的な登録生徒数:39 人、延べ出席人数(累計):1,571 人、平均出席率:84.8% 豊崎中学校 定員:40 人、延べ登録生徒数:27 人、最終的な登録生徒数:27 人、延べ出席人数(累計):1,071 人、平均出席率:89.2%
9	その他	昨年度実施時の、教育委員会が感じている課題や保護者様からの課題やご意見等がありましたら教えてください。	回答項目 5 に記載しておりますとおり、受講者及び保護者から「より早い時期からの開始を希望する」といったご意見が寄せられたため、昨年度の 11 月開始から、今年度は 10 月開始へ変更しております。 また、昨年度は各中学校においてプレ入試(模試)を実施しておりましたが、今年度はより本番

			に近い環境で実施する観点から、豊見城市立中央公民館での 4 中学校合同実施を予定しております。
--	--	--	---